



火災予防ニュース

第15号 令和2年2月13日 苫小牧市消防本部予防室発行

『頻発する死亡火災』

令和2年になり、1月11日・28日、2月11日に発生した火災により、3名の方が亡くなりました。

昨年1年間で、火災件数が67件（近年では多い）に対し火災による死者が“ゼロ”だったことから、異常といえる状況となっています。

現在、火災の原因については調査中のため、特定には至っていませんが、火災を発生させないためにも、次のことを心がけましょう！



写真はイメージです

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

～3つの習慣・4つの対策～



《3つの習慣》

- 1 寝たばこは、絶対にしない！
- 2 ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する！
- 3 ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す！

《4つの対策》

- 1 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する！
- 2 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する！
- 3 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する！
- 4 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る！

10年たったら、
とりカエル。



住宅用火災警報器は正常に作動していますか？

- 住宅用火災警報器は設置から10年が使用期限の目安になります。
- 定期的に作動確認を行い異常の有無を確認してください。
- 電池切れや故障の場合はすぐに新品に交換してください。